

菌血症例から分離された MRSA のダプトマイシン感受性の検討 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属溝口病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2021年5月24日～2022年12月31日

〔研究課題〕

菌血症例から分離された MRSA のダプトマイシン感受性の検討

〔研究目的〕

ダプトマイシンはメチシリン耐性ブドウ球菌（MRSA）による菌血症の主要な抗菌薬ですが、耐性菌の出現頻度は明らかではありません。そこで当院における過去4年間に菌血症の患者さんから検出された MRSA のダプトマイシン感受性を調査し、ダプトマイシンの適正な使用に役立てます。

〔研究意義〕

MRSA 菌血症の患者さんに対する、ダプトマイシンの適正な治療に役立てます。

〔対象・研究方法〕

2017年5月1日から2021年4月30日までの4年間で、当院および共同研究施設に入院された菌血症の患者さんから検出された MRSA のダプトマイシン感受性を調査し、抗 MRSA 薬の治療歴や中心静脈カテーテル留置の有無との関連を調査します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属溝口病院第四内科

〔個人情報の取り扱い〕

匿名化し個人情報を保護します。研究終了後は臨床研究センターにて10年間保管の後に廃棄します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：菊池健太郎（帝京大学医学部附属溝口病院 第四内科学講座 准教授）

研究分担者：高井敦子（帝京大学医学部附属溝口病院 第四内科学講座 助手）

住所：川崎市高津区二子 5-1-1 TEL：044-844-3333(代表) [内線 3213]